

九州地方整備局の事故発生状況

平成23年3月末現在

[年度別事故発生状況]

年度		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
発生 件数	労働災害	(3) 20	(2) 28	(2) 27	(1) 34	(3) 24	(2) 31	(1) 41	(4) 36	(2) 28	(1) 35	(2) 24
	公衆災害	(2) 25	(1) 26	(2) 37	(1) 36	(1) 31	(2) 45	(1) 65	(1) 33	(2) 25	(1) 29	(2) 33
合 計		(5) 45	(3) 54	(2) 64	(2) 70	(4) 55	(4) 76	(1) 106	(4) 69	(2) 53	(1) 64	(2) 57

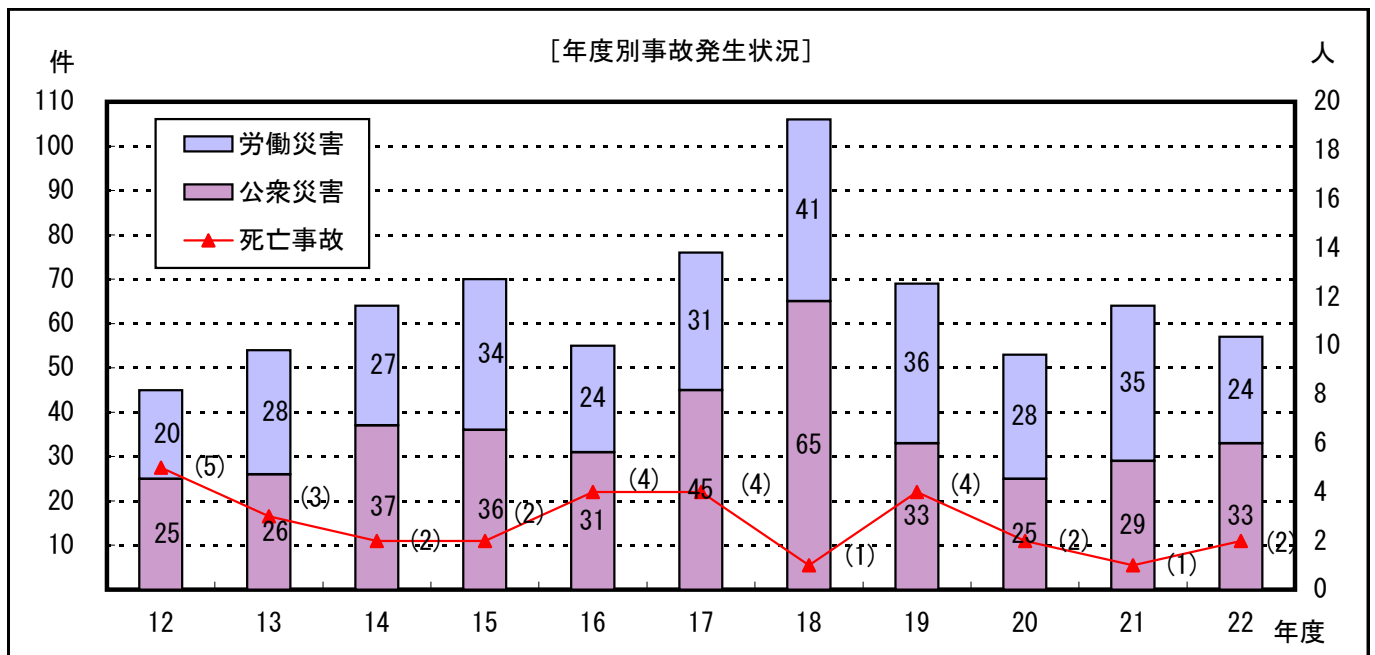
※河川、道路、公園事業における事故（港湾空港部、営繕部除く）

※（ ）書は、死者数で内書。

※直轄工事において発生したすべての事故を計上。

※労働災害とは、工事作業が起因して、工事関係者が死傷した事故。

※公衆災害とは、工事作業が起因して、第三者が死傷または第三者に損害を与えた事故。



○H21年度の事故について

- ・平成21年度は64件の事故が発生（労働災害：35件、公衆損害：29件）
- ・公衆災害のうち、切断事故が多発（架空線11件、地下埋設物6件）
- ・死亡事故は1件
道路改良工事における立木（杉：直径58cm 長さ27.4m）の伐採作業中に、伐採した木が作業員に当たり死亡。（伐採作業時における合図の不徹底等が要因）
- ・一酸化炭素中毒により複数が被災
コンクリート閉塞部の溶接作業の際、坑内で発動発電機を使用したため、一酸化中毒により複数名が被災。（安全指導の不徹底により換気が不十分な状態で、発動発電機を使用したことが要因）
- ・着工前準備作業における事故
着工前写真を撮影するため、1人作業により車道部で写真撮影をしていた際に、普通乗用車に後ろ向きに追突され重傷を負った。（準備工における安全管理に対する認識の薄さが要因（ヘルメット・安全チョッキの未着用、誘導員等の必要な見張員の配置無し））
- ・墜落、転落事故が多く発生（11件）
モルタル吹付前の法面清掃を行っていた際、アンカーが抜け高さ5mから墜落し重傷を負った。（作業前の安全点検の不備が要因）
その他、脚立や梯子からの転落による事故が多く発生。
- ・その他（もらい事故）
居眠り運転の一般車に誘導員がはねられ死亡する事故や、酔っ払い運転の一般車に誘導員がはねられ重傷を負う事故が発生。